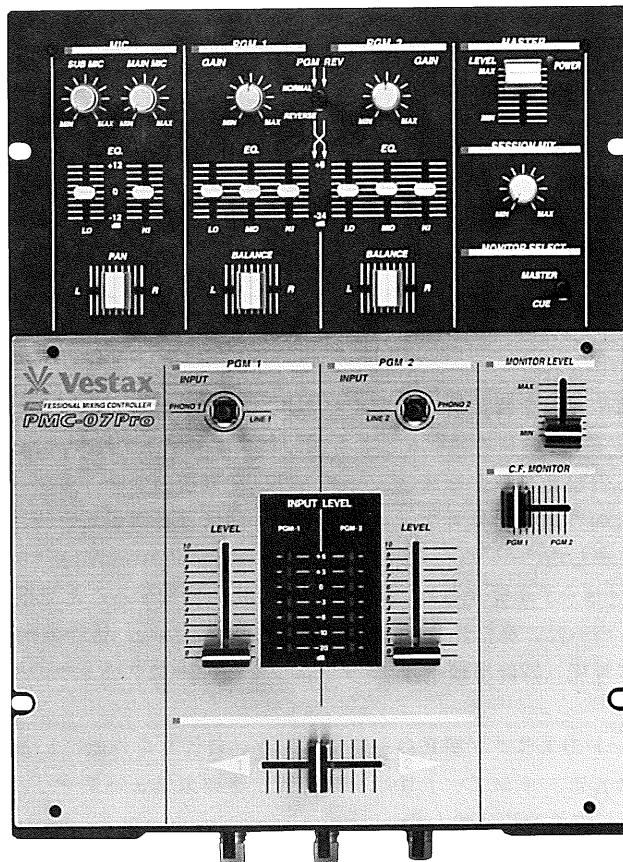




Professional Mixing Controller

PMC-07Pro

取扱説明書



ベスタクス株式会社

〒154-0023 東京都世田谷区若林1-18-6

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-07PROプロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機はスクラッチパフォーマンスを行うプロフェッショナルDJのために音質、機能、デザインを追求した世界初のプロユースパフォーマンスミキサーPMC-05PROを基本に、さらにパフォーマンスの可能性を広げる数々の新機能を追加しました。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いいたします。

PMC-07PROの特長

- フェーダー周辺の溝やビスを新機構のダブルパネル（特許出願中）で排除しました。プロDJの意見を反映させた操作ツマミのレイアウトとともに、パフォーマンス性が大幅にアップしました。
- スクラッチミキサーの要となるクロスフェーダーは、世界初のフォトカプラーによるコントロールを採用しました。この方式はクロスフェーダーそのものには音声信号を流さないため、長寿命と滑らかな動きを実現しました。
フォトカプラー：ダイオードを発光させ、その光量の変化を感知することで抵抗値を変える素子です。
- インプット切替えレバーは、操作性を考慮した長さや形状を持ち、操作方向を縦、横、斜め45度に自由にセッティング可能（特許出願中）。トランスフォーマースクラッチの際に、最適なポジションを選択できます。
- 各プログラムに3バンドのスライド型EQを装備、細かい音作りを可能にしました。
- プログラムリバーズSW、インプットリバーズSW、クロスフェーダーリバーズSWを装備、さらにパフォーマンスの可能性を広げました。
- インプットフェーダー、クロスフェーダーはボリュームによりカーブを自由に変更することが可能です。
- 入力セクションに“SESSION IN”端子を追加、複数のPMC-07PROをカスケード接続することが可能です。
- マスターアウトにはTRSバランス方式を採用、高音質を実現しました。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないよう注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なおいや音があるなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



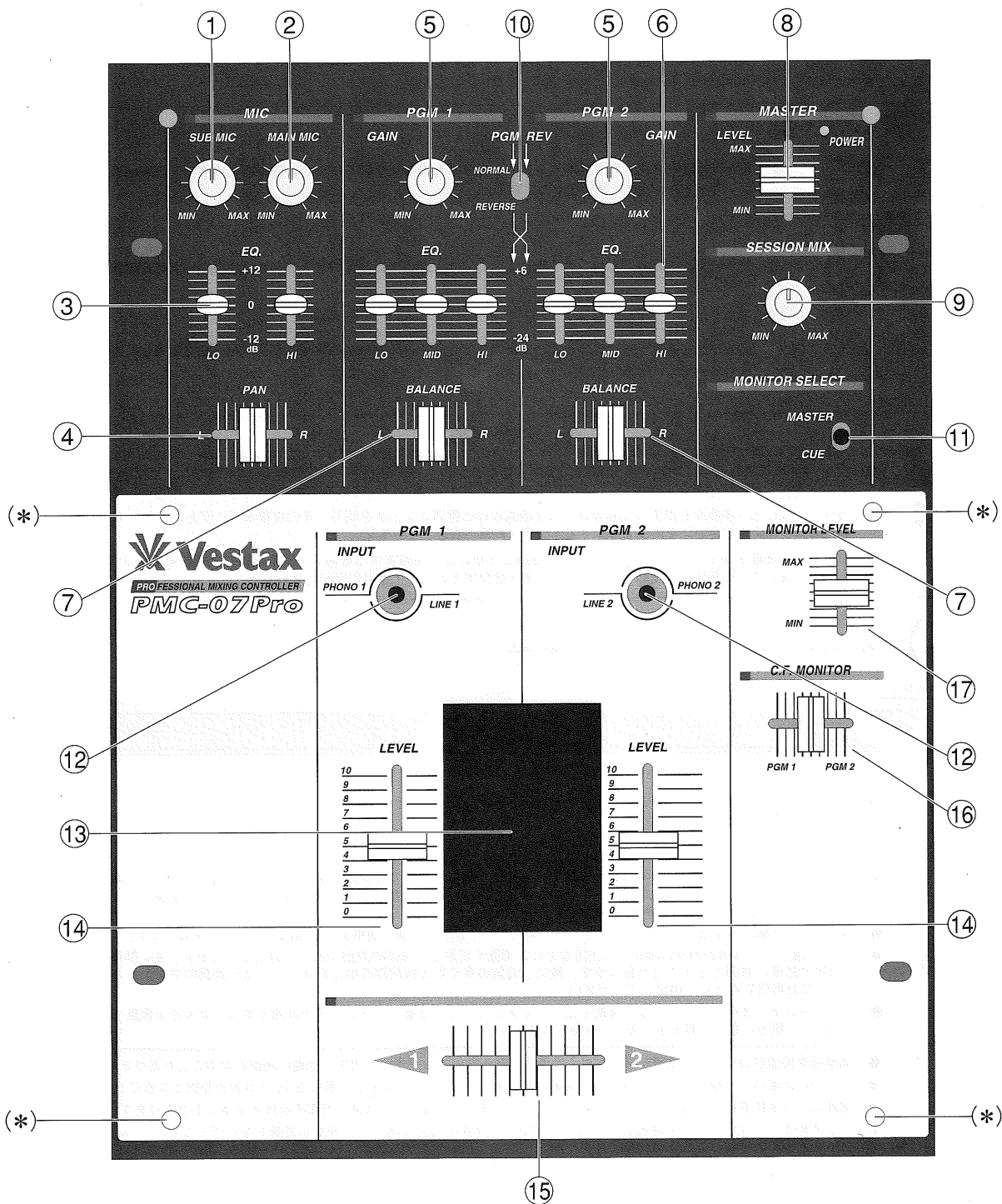
- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

各部の名称とはたらき

トップパネル



フロントパネル

1, サブマイクレベル

サブマイクインプットジャック⑳に接続したマイクの音量を調節します。

2, メインマイクレベル

メインマイクインプットジャック㉑に接続したマイクの音量を調節します。

3, マイクイコライザー

メイン、サブマイク両方の音質をHI、LOの2バンドで調節します。

4, マイクパンボリューム

メイン、サブマイクのL、Rの定位を調節します。

5, ゲインボリューム

各プログラムチャンネルの入力レベルを調節します。インプットフェーダー⑭を目盛り最大にセットした状態でインプットレベルメーター⑬が0dB位まで点灯するようにセットしてください。

6, プログラムイコライザー

各プログラムチャンネルの音質をHI、MID、LOの3バンドで調節します。

各周波数のポイントは

{	HI20KHz	となります。
	MID1KHz	
	LD20Hz	

7, バランスコントロールフェーダー

各プログラムチャンネルのL/Rの音量バランスを調節します。

8, マスターフェーダー

マスターアウトジャック㉕㉖から出力されるレベルを調節します。

9, セッションインボリューム

セッションインジャック㉗に入力された機器の音量を調整します。

10, プログラムリバーブスイッチ

スイッチをONにすることにより、PGM1に接続したソースがPGM2に立ち上がり、PGM2に接続したソースがPGM1に立ちあがり。ゲイン、EQ、バランス、インプットセレクト、インプットフェーダーのセッティングが入れ替わります。

11, モニターセレクトスイッチ

ヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチです。スイッチを切り替えることによってインプットソースをモニターするか、マスターをモニターするか設定することができます。

CUE.....CFモニター⑩を左右に移動させることでPGM1、PGM2のインプットソースを切替え、聴くことができます。

MASTER.....マスターアウトジャック㉕㉖から出力されている音声をモニターすることができます。

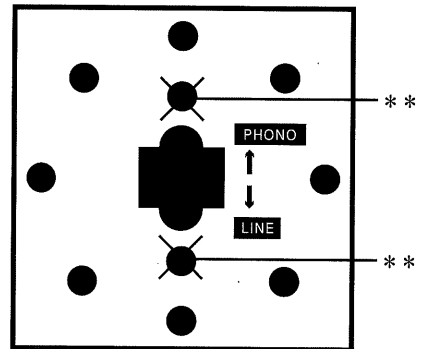
12, インプットセレクトスイッチ

各プログラムチャンネルの入力(PHONO、LINE)を設定します。スイッチを倒した状態でライン入力となります。また、スイッチの取り付け角度を変更することができます。変更する際は次の要領で行って下さい。

- ① 各フェーダーのつまみとトップパネルを留めている4本のねじ(図中の*のねじ)を取外します。
- ② トップパネルを取外します。
- ③ スイッチパネルの外側のねじ(**)を外し、任意の角度にしてねじを留めます。
- ④ トップパネルを戻し、つまみを取り付けて完了です。

13, インプットレベルメーター

各プログラムの入力レベルを表示します。通常0dB位が適正レベルです。



14, インプットフェーダー

各プログラムの入力レベルを設定します。

15, クロスフェーダー

フェーダーを左側に移動するとPGM1の音が、右側に移動するとPGM2の音がそれぞれ出力されます。また、中央部では1、2両方の音が出力されます。クロスフェーダーの音量変化のカーブはCFカーブ切替えボリューム⑳で変更することができます。交換の際は以下の要領で行って下さい。

注意：インプットフェーダー、クロスフェーダーを動かした際にノイズが目立つようになった場合はフェーダーユニットを交換してください。PMC-07PROの交換用フェーダーは、IF・CF共通です。交換用フェーダーは、“CF-05PRO”をお求めください。

- ① インプットスイッチの角度変更と同様にねじ（図中の*）を4本取外し、トップパネルを取外します。
- ② フェーダーユニット取り付けねじ（2本）をはずします。
- ③ フェーダーユニットからマルチケーブルコネクタを外します。
- ④ 新しいフェーダーユニットに、コネクタを差し込み、ねじをしめる。
- ⑤ トップパネルを元に戻し、ねじを取り付けます。

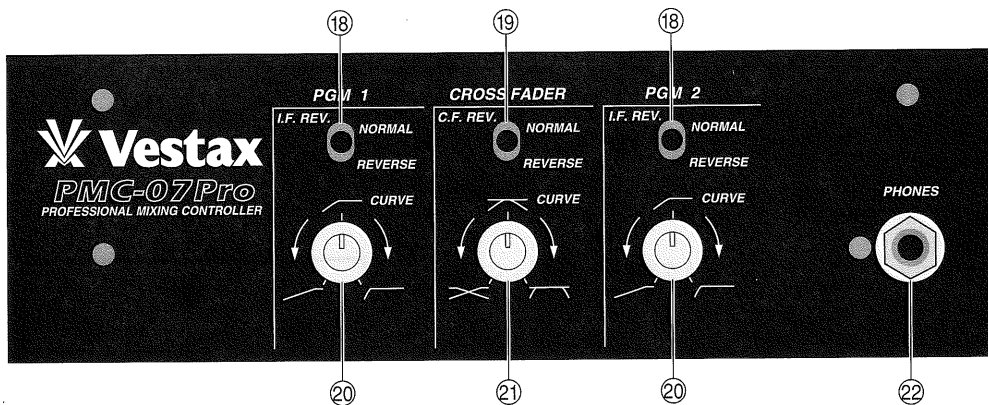
16, クロスフェーダーモニターフェーダー

ヘッドフォンで各プログラムをモニターする際にソースを切り替えるフェーダーです。クロスフェーダーと同様に左に移動するとPGM1が、右に移動させるとPGM2の音声が出力されます。

17, ヘッドフォンボリューム

ヘッドフォンの音量を調整します。

フェーダーセッティングセクション



18, インプットフェーダーリバーススイッチ

インプットフェーダーの機能を逆転させるスイッチです。“REVERSE”に切り替えると、インプットフェーダーを上移動させると音量が下がり、下に移動させると音量が上がります。

19, クロスフェーダーリバーススイッチ

クロスフェーダーの機能を逆転させるスイッチです。“REVERSE”に切り替えると、フェーダーを左に移動させるとPGM2の音声が出力され、右に移動させるとPGM1の音声が出力されます。

20, IFカーブ切替えボリューム

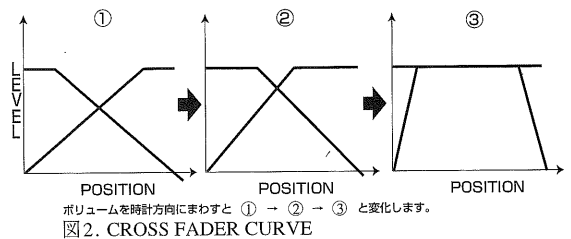
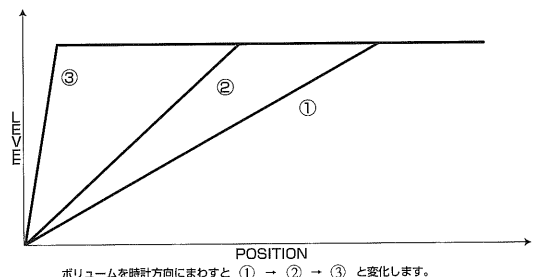
インプットフェーダーのカーブを調節します。右に回すとカーブが急になり、左に回すとカーブがなだらかになります。（図1参照）

21, CFカーブ切替えボリューム

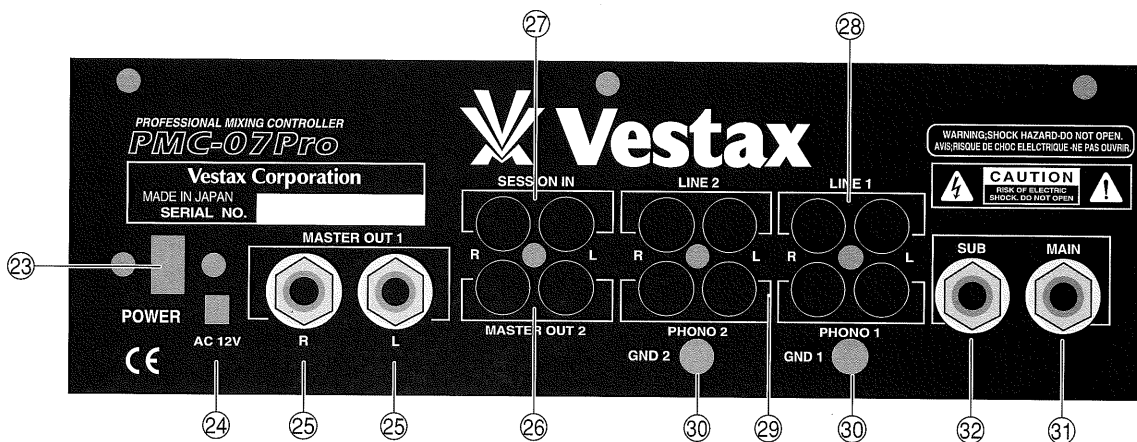
クロスフェーダーのカーブを調節します。右に回すとカーブが急になり、左に回すとカーブがなだらかになります。（図2参照）

22, ヘッドフォンジャック

ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。



インプット・アウトプットセクション



23, パワースイッチ

電源のON/OFFスイッチです。押すと電源がONになり、フロントパネルのパワーLEDが点灯します。

注意：電源をON/OFFするときには、スピーカー、アンプ等を破損するおそれがありますので、パワーアンプの電源をOFFにするか、音量を下げてから行うようにして下さい。

24, ACジャック

付属のアダプター（AC-12A）を接続します。

25, マスターアウトジャック（1/4 inch T.R.S JACK）

マスター音声の出力ジャックです。アンプのLINE、AUX、または外部出力等の端子に接続してください。また、出力はT.R.S BALANCE方式になっています。バランス接続の際は下の配置にそったケーブルをご使用下さい。

Tip HOT
Ring COLD
Sleeve GND

26, マスターアウトジャック（RCA PIN JACK）

マスター音声の出力ジャックです。出力はアンバランスです。カスケード接続の際は、この端子から次の07PROのセッションイン端子に接続してください。

27, セッションイン インプットジャック

ミキサーを複数使用してパフォーマンスを行う際、セッションインに他のミキサーの出力を接続することにより、マスター出力を1系統にまとめることができます。（カスケード接続） また、ラインレベルの入力（-10dB）の外部機器を接続することもできます。音量はセッションインボリューム⑨で調整して下さい。接続については（カスケード接続の例）を参考にして下さい。

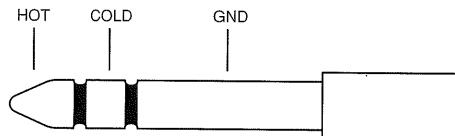


図3. T.R.S JACK

28, ラインインプットジャック

ラインレベル（-10dB）の入力端子です。CD、MD等の機器を接続して下さい。

29, フォノインプットジャック

ターンテーブルの接続端子です。

注意：本機のPHONO入力にはMCカートリッジは接続することはできません。接続する際は昇圧トランスでレベルを合わせる必要があります。

30, グランドターミナル

ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

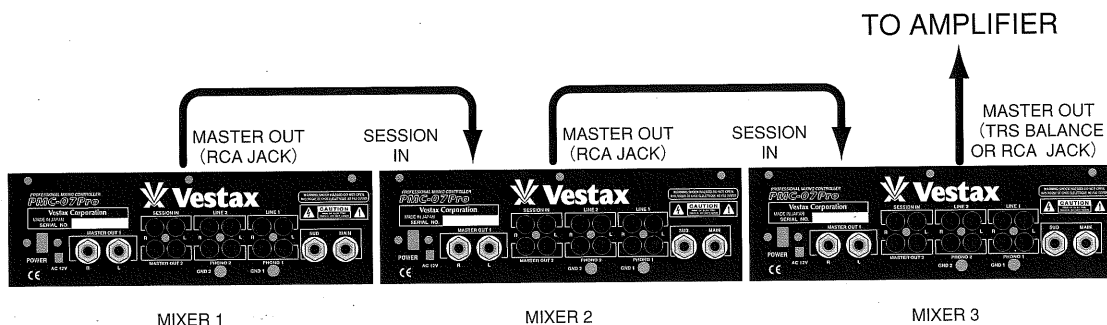
31, メインマイクインプットジャック

メインマイクの入力端子です。音量はメインマイクボリューム②で調整します。

32, サブマイクインプットジャック

サブマイクの入力端子です。音量はサブマイクボリューム①で調整します。

カスケード接続の例



SPECIFICATION

			NOMINAL INPUT LEVEL	MAXIMUM INPUT LEVEL	IMPEDANCE
INPUT SECTION	MAIN/SUB MIC (1/4 'PHONEJACK')		-50dBv	-20dBv	3.3k Ω
	PHONO 1~2L/R (RCA PIN JACK)		-42dBv	-22dB v	56k Ω
	LINE 1~2L/R (RCA PIN JACK)		-10dBv	14dBv	20k Ω
	SESSION IN (RCA PIN JACK)		-10dBv	8dBv	10k Ω
			RATED INPUT	MAXIMUM INPUT	LOAD IMPEDANCE
OUTPUT SECTION	MASTER OUT L/R (TRS BALANCE)		-60dBv	16dBv	2k Ω or more
	MASTER OUT L/R (RCA PIN JACK)		-53dBv	9dBv	2k Ω or more
	HEAD PHONE (1/4' PHONE JACK)			130mw	4 Ω
FREQUENCY RESPONSE	MIC	30Hz ~ 20kHz (± 0.5 dB)	CROSSFADER CROSSTALK		< -100dB
	LINE	20Hz ~ 20kHz (± 0.5 dB)	CHANNEL CROSSTALK		< -65dB
S/N RATIO	MIC	80dB 以上	POWER SUPPLY		AC12V 1000mA
	LINE	90dB 以上	DIMENSION (W×H×D)		360×262×105
FADER ATTENUATION	70dB以上		WEIGHT		4kg